

多摩市立ふるさと資料館の「展示室3」がオープンしました！

令和4年4月1日に開館した多摩ふるさと資料館（多摩市貝取1-26-1）の「展示室3」に旧小泉家住宅（多摩市落合（現・鶴牧）にあった養蚕農家）の一部を復元し、6月15日（水曜）から一般公開を開始しました！

1 これまでの経緯

旧小泉家住宅は小田急多摩線の延長計画により、軌道が旧住宅を横断することとなったため、新しい住宅を建築し、昭和57（1982）年に小泉氏から住宅部材の寄贈を受けました。

資料館開館に伴い、当時の旧小泉家住宅部材の一部を使って展示室内に土間・かつて・広間等の一部を復元し、電気がなかった時代から昭和の暮らし等の生活道具もあわせて展示することで、むかしの家の様相に触れ、古民家の雰囲気を感じることができる展示スペースを作りました。



旧住宅全景

2 みどころ

旧小泉家住宅で使用されていた実物の大黒柱や、屋根や柱同士を支える「^{はり}梁」を用いて復元されています。釘を1本も使用せずに組み立てられており、古民家ならではの仕組みとなっています。復元展示には靴を脱いで上がることができます。



問い合わせ

教育部教育振興課

電話：042（338）6883